

## 国立病院機構の物品調達業務の評価（案）の概要

### 1. 業務内容及び契約期間

国立病院機構の各病院共通の消耗品等のうち、事務消耗品及び事務消耗品と併せて調達することで材料費の抑制が期待される衛生材料 2 品目に係る調達業務（カタログの作成、商品の受注・配送等、商品等に係る問い合わせ対応、調達実績等の報告）

契約期間：平成 23 年 7 月から平成 25 年 6 月までの 2 年間（本事業の評価は 23 年 7 月～12 月の実施状況に基づく）

### 2. 実施状況に関する評価

本事業実施の 40 病院を対象として実施したアンケート結果によると、Web カタログの見易さで 86.6%、検索し易さで 79.7%が「はい」との回答であり、評価できる。一方、受託事業者 3 社のカタログにログインする必要があるため、発注にかかる手間について意見が見られており、発注の利便性向上に向けて、検索方法をより容易にする等の方策を講じる必要がある。

商品価格については、本事業実施前と比べ、商品全体で 94.4%、品目毎の価格で 83.3%が安価と回答しており、評価できる。

商品の配送については、概ね業務に支障なく期日に納品されており、病院からの問い合わせについても適切に行われており、評価できる。

また、民間事業者からの改善提案による実施事項として、受託事業者 3 社とも 1 回の発注金額に拘わらず配送料が無料等の提案を受け、配送コストの削減を図っている。

### 3. 実施経費に関する評価

従来と本事業の購入金額の比較に当たっては、従来で購入品目、購入数量が同一ではないため、対象品目や購入数量を合わせ、同様の条件を設定し、比較を行った。

本事業の購入金額 77,463 千円は、従来で購入金額 108,003 千円と比較すると、約 71%に相当しており、事業開始 6 カ月で約 3 千万円程度の低減が見積もられることから、経費削減効果について評価できる。

また、6 カ月ごとの価格改定については、受託事業者 3 社間で最安値品目数が変動するなど、競争による効果が発揮されているものと考えられる。

### 4. 今後の事業

民間競争入札の実施により、サービスの質の確保、経費削減効果が見積もられることから、次期事業についても引き続き民間競争入札を実施することが適当と考えられるが、本実施状況を踏まえ、次の点に留意することが必要である。

- (1) Web カタログの検索の利便性を向上させるための方策について、企画書において具体的な提案を求めるとともに、落札者決定に当たっての

評価項目の配点割合を高めること

- (2) よりスケールメリットを活かした調達を行うため、現在の参加病院数の拡大を行うこと。また、対象品目数について、リストの見直しを行うとともに、参加病院の使用実態に応じて更なる拡大を図ること
- (3) アンケートの項目については、Web発注の利便性の状況等について適切に把握できる質問項目を設定すること。
- (4) 本事業の契約終了（平成25年6月）までの期間に係る実施状況について、把握・分析を行うこと。
- (5) 次期事業の民間競争入札において、今回参加していない民間事業者においても実施状況を踏まえた工夫（企画書の提案）が可能となるよう、実施要項において本実施状況の内容を十分に情報開示すること。

以上